

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村	病院名	ページ	市町村	病院名	ページ
-	尼崎総合医療センター	2	西宮市	中央病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	38
-	西宮病院	3	芦屋市	芦屋病院	21	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	39
-	加古川医療センター	4	伊丹市	伊丹病院	22	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	40
-	淡路医療センター	5	相生市	相生市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	赤穂市	赤穂市民病院	24	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	42
-	丹波医療センター	7	西脇市	西脇病院	25			
-	こども病院	8	宝塚市	市立病院	26			
-	がんセンター	9	高砂市	高砂市民病院	27			
-	はりま姫路総合医療センター	10	川西市	川西市立総合医療センター	28			
-	粒子線医療センター	11	三田市	三田市民病院	29			
-	災害医療センター	12	加西市	加西病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	宍粟市	公立宍粟総合病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	加東市	加東市民病院	32			
-	県立西宮病院と市立西宮中央 病院との統合再編事業	15	たつの市	市民病院	33			
-	県立がんセンター建替整備事 業	16	神河町	公立神崎総合病院	34			
神戸市	中央市民病院	17	香美町	公立香住病院	35			
神戸市	西市民病院	18	新温泉町	浜坂病院	36			
明石市	市民病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	37			

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 尼崎総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	78,395 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	48	指定病院の状況	救が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	714	89.5	88.6	84.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	38.9	40.5	56.9
感染症	8	56.1	69.9	70.6
計	730	88.6	87.9	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	9.6	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	39,695,852			
1 経常収益	39,665,534			
(1) 医業収益	35,602,751			
(うち修正医業収益)	35,191,904			
入院収益	25,146,084			
外来収益	9,418,537			
診療収入計	34,564,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,038,130			
(うち他会計負担金)	410,847			
(2) 医業外収益	4,062,783			
(うち国・都道府県補助金)	114,294			
(うち他会計補助・負担金)	2,486,509			
(うち長期前受金戻入)	1,088,317			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,318			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	41,884,074			
2 経常費用	41,862,065			
(1) 医業費用	39,863,692			
職員給与費	20,193,821	56.7	60.8	53.3
材料費	12,110,377	34.0	27.1	33.0
(うち薬品費)	5,575,533	15.7	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,330,461	17.8	11.8	14.1
減価償却費	2,045,146	5.7	8.6	7.4
経費	5,291,911	14.9	22.0	17.2
(うち委託料)	3,147,612	8.8	11.8	10.2
研究研修費	156,638			
資産減耗費	65,799			
(2) 医業外費用	1,998,373			
(うち支払利息)	160,336	0.5	0.9	0.7
(3) 特別損失	22,009			
経常損益	-2,196,531			
純損益	-2,188,222			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.8		93.0	94.3
医業収支比率	89.3		83.9	89.6
修正医業収支比率	88.3		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	87.8		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,854,020	2,897,356
資本勘定繰入	575,784	575,784
計	3,429,804	3,473,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 西宮病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,578 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	400	76.6	75.8	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	76.6	75.8	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.1	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,382,295			
1 経常収益	13,356,674			
(1) 医業収益	12,211,967			
(うち修正医業収益)	11,768,583			
入院収益	8,346,906			
外来収益	3,189,521			
診療収入計	11,536,427			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	675,540			
(うち他会計負担金)	443,384			
(2) 医業外収益	1,144,707			
(うち国・都道府県補助金)	28,970			
(うち他会計補助・負担金)	689,204			
(うち長期前受金戻入)	367,074			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	25,621			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,211,428			
2 経常費用	15,140,247			
(1) 医業費用	14,556,427			
職員給与費	8,091,435	66.3	60.8	58.1
材料費	3,556,087	29.1	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,934,579	15.8	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,534,726	12.6	11.8	12.7
減価償却費	568,688	4.7	8.6	8.1
経費	2,260,964	18.5	22.0	18.7
(うち委託料)	1,082,147	8.9	11.8	10.4
研究研修費	61,640			
資産減耗費	17,613			
(2) 医業外費用	583,820			
(うち支払利息)	14,327	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	71,181			
経常損益	-1,783,573			
純損益	-1,829,133			
累積欠損金	6,142,117			
経常収支比率	88.2		93.0	93.4
医業収支比率	83.9		83.9	87.3
修正医業収支比率	80.8		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	80.7		81.6	84.3

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,122,332	1,132,588
資本勘定繰入	262,391	262,391
計	1,384,723	1,394,979

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 加古川医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,520 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	345	76.4	71.7	62.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	-	15.4
計	353	74.7	70.1	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.2	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,986,211			
1 経常収益	12,978,308			
(1) 医業収益	11,033,683			
(うち修正医業収益)	10,661,232			
入院収益	6,845,927			
外来収益	3,561,763			
診療収入計	10,407,690			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	625,993			
(うち他会計負担金)	372,451			
(2) 医業外収益	1,944,625			
(うち国・都道府県補助金)	308,683			
(うち他会計補助・負担金)	970,781			
(うち長期前受金戻入)	592,408			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,903			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,479,804			
2 経常費用	14,473,251			
(1) 医業費用	13,696,424			
職員給与費	7,479,871	67.8	60.8	61.3
材料費	3,146,305	28.5	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,612,985	14.6	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,453,996	13.2	11.8	11.2
減価償却費	915,030	8.3	8.6	8.5
経費	2,097,056	19.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,468,232	13.3	11.8	11.9
研究研修費	35,541			
資産減耗費	22,621			
(2) 医業外費用	776,827			
(うち支払利息)	188,639	1.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	6,553			
経常損益	-1,494,943			
純損益	-1,493,593			
累積欠損金	8,664,465			
経常収支比率	89.7		93.0	92.2
医業収支比率	80.6		83.9	84.6
修正医業収支比率	77.8		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	80.4		81.6	82.3

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,336,660	1,343,232
資本勘定繰入	579,189	579,189
計	1,915,849	1,922,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 淡路医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,005 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救急が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	377	85.0	83.7	80.1
療養	-	-	-	-
結核	15	11.8	13.8	32.9
精神	45	57.8	54.7	55.6
感染症	4	30.5	24.2	14.1
計	441	79.2	77.9	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	13.1	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,154,158			
1 経常収益	16,151,446			
(1) 医業収益	13,974,267			
(うち修正医業収益)	13,575,644			
入院収益	9,992,353			
外来収益	3,406,274			
診療収入計	13,398,627			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	575,640			
(うち他会計負担金)	398,623			
(2) 医業外収益	2,177,179			
(うち国・都道府県補助金)	62,162			
(うち他会計補助・負担金)	1,297,516			
(うち長期前受金戻入)	706,338			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,712			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,953,665			
2 経常費用	16,946,907			
(1) 医業費用	16,050,315			
職員給与費	8,196,840	58.7	60.8	58.1
材料費	4,085,649	29.2	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,631,230	11.7	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,419,365	17.3	11.8	12.7
減価償却費	1,110,907	7.9	8.6	8.1
経費	2,592,244	18.6	22.0	18.7
(うち委託料)	1,482,468	10.6	11.8	10.4
研究研修費	41,608			
資産減耗費	23,067			
(2) 医業外費用	896,592			
(うち支払利息)	150,007	1.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	6,758			
経常損益	-795,461			
純損益	-799,507			
累積欠損金	2,629,255			
経常収支比率	95.3		93.0	93.4
医業収支比率	87.1		83.9	87.3
修正医業収支比率	84.6		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	85.3		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,674,894	1,696,139
資本勘定繰入	651,055	651,055
計	2,325,949	2,347,194

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	ひょうごこころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,805 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	6	指定病院の状況	臨 災
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	462	38.7	36.0	32.8
感染症	-	-	-	-
計	462	38.7	36.0	32.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,239,273			
1 経常収益	4,236,704			
(1) 医業収益	2,593,683			
(うち修正医業収益)	2,217,334			
入院収益	1,837,334			
外来収益	363,334			
診療収入計	2,200,668			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	393,015			
(うち他会計負担金)	376,349			
(2) 医業外収益	1,643,021			
(うち国・都道府県補助金)	17,547			
(うち他会計補助・負担金)	1,378,054			
(うち長期前受金戻入)	217,752			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,569			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,588,935			
2 経常費用	4,587,755			
(1) 医業費用	4,439,848			
職員給与費	3,149,351	121.4	60.8	108.5
材料費	172,969	6.7	27.1	9.4
(うち薬品費)	76,539	3.0	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,820	1.2	11.8	1.4
減価償却費	357,616	13.8	8.6	12.6
経費	738,158	28.5	22.0	34.8
(うち委託料)	315,226	12.2	11.8	15.4
研究研修費	16,291			
資産減耗費	5,463			
(2) 医業外費用	147,907			
(うち支払利息)	50,914	2.0	0.9	2.1
(3) 特別損失	1,180			
経常損益	-351,051			
純損益	-349,662			
累積欠損金	13,256,013			
経常収支比率	92.3		93.0	95.5
医業収支比率	58.4		83.9	60.3
修正医業収支比率	49.9		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	41.4		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	67.6		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	41.4		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	54.1		81.6	61.5

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,748,800	1,754,403
資本勘定繰入	339,033	339,033
計	2,087,833	2,093,436

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 丹波医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,679 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	316	90.4	86.4	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	2.5	57.7
計	320	89.3	85.3	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.1	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,538,979			
1 経常収益	10,538,286			
(1) 医業収益	8,879,194			
(うち修正医業収益)	8,537,012			
入院収益	5,849,031			
外来収益	2,315,101			
診療収入計	8,164,132			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	715,062			
(うち他会計負担金)	342,182			
(2) 医業外収益	1,659,092			
(うち国・都道府県補助金)	31,945			
(うち他会計補助・負担金)	613,893			
(うち長期前受金戻入)	855,160			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	693			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,820,529			
2 経常費用	11,810,729			
(1) 医業費用	11,195,346			
職員給与費	5,763,055	64.9	60.8	61.3
材料費	1,921,215	21.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	948,027	10.7	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	949,277	10.7	11.8	11.2
減価償却費	1,158,199	13.0	8.6	8.5
経費	2,316,642	26.1	22.0	21.8
(うち委託料)	1,558,651	17.6	11.8	11.9
研究研修費	26,575			
資産減耗費	9,660			
(2) 医業外費用	615,383			
(うち支払利息)	58,996	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	9,800			
損益	-1,272,443			
純損益	-1,281,550			
累積欠損金	18,402,152			
経常収支比率	89.2		93.0	92.2
医業収支比率	79.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	76.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	81.1		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	888,557	956,075
資本勘定繰入	821,007	821,007
計	1,709,564	1,777,082

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>				都道府県名 兵庫県
市町村・組合名				
病院名	こども病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	41,324 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	27	指定病院の状況	救 地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上~300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	290	79.3	83.6	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	79.3	83.6	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.9	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,273,857			
1 経常収益	14,273,183			
(1) 医業収益	11,491,421			
(うち修正医業収益)	11,086,234			
入院収益	8,934,724			
外来収益	2,035,330			
診療収入計	10,970,054			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	521,367			
(うち他会計負担金)	405,187			
(2) 医業外収益	2,781,762			
(うち国・都道府県補助金)	80,551			
(うち他会計補助・負担金)	2,051,098			
(うち長期前受金戻入)	576,179			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	674			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,885,177			
2 経常費用	15,883,140			
(1) 医業費用	15,271,309			
職員給与費	8,885,163	77.3	60.8	66.2
材料費	2,392,347	20.8	27.1	21.2
(うち薬品費)	1,169,165	10.2	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,143,833	10.0	11.8	10.1
減価償却費	814,512	7.1	8.6	9.5
経費	3,033,564	26.4	22.0	28.6
(うち委託料)	1,175,605	10.2	11.8	14.4
研究研修費	58,634			
資産減耗費	87,089			
(2) 医業外費用	611,831			
(うち支払利息)	69,423	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	2,037			
経常損益	-1,609,957			
純損益	-1,611,320			
累積欠損金	12,198,177			
経常収支比率	89.9		93.0	89.9
医業収支比率	75.2		83.9	79.3
修正医業収支比率	72.6		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	74.4		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,448,446	2,456,285
資本勘定繰入	468,423	468,423
計	2,916,869	2,924,708

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	360	78.9	69.2	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	78.9	69.2	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	11.5	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,126,276			
1 経常収益	19,125,537			
(1) 医業収益	17,641,982			
(うち修正医業収益)	17,641,952			
入院収益	7,668,001			
外来収益	9,603,232			
診療収入計	17,271,233			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	370,749			
(うち他会計負担金)	30			
(2) 医業外収益	1,483,555			
(うち国・都道府県補助金)	54,181			
(うち他会計補助・負担金)	886,240			
(うち長期前受金戻入)	481,131			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	739			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,411,615			
2 経常費用	19,409,201			
(1) 医業費用	18,313,139			
職員給与費	6,275,132	35.6	60.8	61.3
材料費	8,214,322	46.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	6,618,512	37.5	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,503,516	8.5	11.8	11.2
減価償却費	815,065	4.6	8.6	8.5
経費	2,895,165	16.4	22.0	21.8
(うち委託料)	1,563,677	8.9	11.8	11.9
研究研修費	105,670			
資産減耗費	7,785			
(2) 医業外費用	1,096,062			
(うち支払利息)	18,188	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	2,414			
経常損益	-283,664			
純損益	-285,339			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.5		93.0	92.2
医業収支比率	96.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	96.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	94.0		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	835,662	886,270
資本勘定繰入	343,932	343,932
計	1,179,594	1,230,202

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 はりま姫路総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	70,008 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	720	87.6	81.7	65.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	63.5	49.7	47.6
感染症	-	-	-	-
計	736	87.0	81.0	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.2	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	33,695,980				
1 経常収益	33,685,010				
(1) 医業収益	29,718,877				
(うち修正医業収益)	29,334,358				
入院収益	22,235,248				
外来収益	6,546,714				
診療収入計	28,781,962				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	936,915				
(うち他会計負担金)	384,519				
(2) 医業外収益	3,966,133				
(うち国・都道府県補助金)	109,113				
(うち他会計補助・負担金)	1,542,536				
(うち長期前受金戻入)	2,027,558				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	10,970				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	36,083,133				
2 経常費用	35,710,913				
(1) 医業費用	33,851,498				
職員給与費	16,088,092	54.1	60.8	53.3	
材料費	9,595,050	32.3	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,487,401	11.7	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,078,197	20.5	11.8	14.1	
減価償却費	2,838,615	9.6	8.6	7.4	
経費	5,212,762	17.5	22.0	17.2	
(うち委託料)	3,458,546	11.6	11.8	10.2	
研究研修費	116,979				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	1,859,415				
(うち支払利息)	157,107	0.5	0.9	0.7	
(3) 特別損失	372,220				
経常損益	-2,025,903				
純損益	-2,387,153				
累積欠損金	1,457,811				
経常収支比率	94.3		93.0	94.3	
医業収支比率	87.8		83.9	89.6	
修正医業収支比率	86.7		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	5.7		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	88.9		81.6	87.1	

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,905,015	1,927,055
資本勘定繰入	1,509,528	1,509,528
計	3,414,543	3,436,583

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 粒子線医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	22,541 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	50.5	47.0	47.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	50.5	47.0	47.8
平均在院日数(一般病床のみ)		26.3	32.1	32.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,743,103				
1 経常収益	2,728,881				
(1) 医業収益	1,734,108				
(うち修正医業収益)	1,734,086				
入院収益	799,788				
外来収益	895,444				
診療収入計	1,695,232				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	38,876				
(うち他会計負担金)	22				
(2) 医業外収益	994,773				
(うち国・都道府県補助金)	129				
(うち他会計補助・負担金)	513,557				
(うち長期前受金戻入)	470,845				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	14,222				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,800,826				
2 経常費用	3,800,809				
(1) 医業費用	3,397,270				
職員給与費	910,764	52.5	60.8	82.0	
材料費	74,894	4.3	27.1	14.2	
(うち薬品費)	13,730	0.8	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,867	3.5	11.8	6.1	
減価償却費	808,480	46.6	8.6	12.5	
経費	1,594,721	92.0	22.0	34.4	
(うち委託料)	1,096,047	63.2	11.8	16.9	
研究研修費	5,659				
資産減耗費	2,752				
(2) 医業外費用	403,539				
(うち支払利息)	180,212	10.4	0.9	1.2	
(3) 特別損失	17				
経常損益	-1,071,928				
純損益	-1,057,723				
累積欠損金	11,519,677				
経常収支比率	71.8		93.0	93.1	
医業収支比率	51.0		83.9	69.6	
修正医業収支比率	51.0		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	29.6		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	18.7		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	58.3		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	512,609	513,579
資本勘定繰入	1,152,728	1,152,728
計	1,665,337	1,666,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 災害医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,313 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	73.3	72.0	77.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	73.3	72.0	77.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	914,528			
1 経常収益	914,528			
(1) 医業収益	411,058			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	411,058			
(うち他会計負担金)	411,058			
(2) 医業外収益	503,470			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	370,660			
(うち長期前受金戻入)	132,629			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	914,528			
2 経常費用	914,528			
(1) 医業費用	822,964			
職員給与費	35,831	8.7	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	118,256	28.8	8.6	13.4
経費	661,108	160.8	22.0	47.6
(うち委託料)	660,198	160.6	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	7,769			
(2) 医業外費用	91,564			
(うち支払利息)	18,946	4.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	49.9		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	85.5		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	190.2		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	85.5		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	14.5		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	778,001	781,718
資本勘定繰入	197,659	197,659
計	975,660	979,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	リハビリテーション中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,570 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	13	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	520	47.1	49.6	46.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	47.1	49.6	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	728,746			
1 経常収益	728,746			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	728,746			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	349,925			
(うち長期前受金戻入)	373,895			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	728,746			
2 経常費用	728,746			
(1) 医業費用	672,344			
職員給与費	10,869	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	320,073	-	8.6	7.4
経費	307,006	-	22.0	17.2
(うち委託料)	306,438	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	34,396			
(2) 医業外費用	56,402			
(うち支払利息)	6,735	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	48.0		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	48.0		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	52.0		81.6	87.1

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	346,405	349,925
資本勘定繰入	403,076	403,076
計	749,481	753,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	リハビリテーション西播磨病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,948 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	10	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	100	89.5	86.3	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	89.5	86.3	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	393,635			
1 経常収益	393,635			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	393,635			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	134,044			
(うち長期前受金戻入)	259,060			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	393,635			
2 経常費用	393,635			
(1) 医業費用	364,900			
職員給与費	10	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	246,316	-	8.6	10.8
経費	118,453	-	22.0	29.9
(うち委託料)	118,128	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	121			
(2) 医業外費用	28,735			
(うち支払利息)	4,352	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	34.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	65.9		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	131,770	134,044
資本勘定繰入	253,880	253,880
計	385,650	387,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	県立西宮病院と市立西宮中央病院との統合再編事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	-
材料費	-	-	27.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.6	-
経費	-	-	22.0	-
(うち委託料)	-	-	11.8	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	104.1
医業収支比率	-		83.9	-
修正医業収支比率	-		81.0	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	99.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	99.4
実質収益対経常費用比率	-		81.6	0.6

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 資本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	79,842	79,842
計	79,842	79,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	県立がんセンター建替整備事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,407,333,062	
標準財政規模(千円)	1,151,101,969	
財政力指数	0.62169	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.1
	将来負担比率(%)	311.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	-
材料費	-	-	27.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.6	-
経費	-	-	22.0	-
(うち委託料)	-	-	11.8	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	104.1
医業収支比率	-		83.9	-
修正医業収支比率	-		81.0	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	99.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	99.4
実質収益対経常費用比率	-		81.6	0.6

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	212,188,901
1 固定資産	183,201,423
(1) 有形固定資産	168,950,301
(2) 無形固定資産	62,770
(3) 投資その他の資産	14,188,352
2 流動資産	28,987,478
(1) 現金及び預金	2,507,744
(2) 未収金及び未収収益	25,489,369
(3) 貸倒引当金( )	127,856
(4) 貯蔵品	848,475
3 繰延資産	-
負債合計	245,625,733
1 固定負債	171,579,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	143,777,053
(2) その他の企業債	3,824,104
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,978,374
(6) リース債務	-
2 流動負債	49,089,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,269,029
(2) その他の企業債	919,476
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,775,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,362,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,956,313
(1) 長期前受金	24,956,313
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-33,436,832
1 資本金	22,152,099
2 剰余金	-55,588,931
(1) 資本剰余金	7,265,519
(2) 利益剰余金	-62,854,450
負債・資本合計	212,188,901
不良債務	8,833,382
実質資金不足額	7,891,982
資本不足額( )	33,436,832
資本不足額(繰延収益控除後)( )	8,480,519
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	3,389	3,389
計	3,389	3,389

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	8,833,382	6.1
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.3
健全化法上の資金不足額(千円)	6,972,506
健全化法上の資金不足比率(%)	4.5
地財法上の資金不足額(千円)	11,716,086
地財法上の資金不足比率(%)	8.0

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	中央市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	984,587,697	
標準財政規模(千円)	463,449,254	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	64.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	-		81.6	87.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	984,587,697	
標準財政規模(千円)	463,449,254	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	64.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	-	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	-		81.6	82.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	明石市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	303,601
決算規模(千円)	130,469,842
標準財政規模(千円)	70,986,273
財政力指数	0.71
経常収支比率(%)	92.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,946			
1 経常収益	3,946			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,946			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,946			
2 経常費用	3,946			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.6	8.5
経費	-	-	22.0	21.8
(うち委託料)	-	-	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,946			
(うち支払利息)	3,946	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	92.2
医業収支比率	-		83.9	84.6
修正医業収支比率	-		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	82.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	西宮市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	257	43.6	42.2	41.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	43.6	42.2	41.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.7	10.5

設立団体の状況	
人口(人)	485,587
決算規模(千円)	204,343,509
標準財政規模(千円)	106,365,663
財政力指数	0.93
経常収支比率(%)	96.7
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,256,847			
1 経常収益	5,254,066			
(1) 医業収益	4,542,667			
(うち修正医業収益)	4,275,073			
入院収益	2,458,623			
外来収益	1,583,336			
診療収入計	4,041,959			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	500,708			
(うち他会計負担金)	267,594			
(2) 医業外収益	711,399			
(うち国・都道府県補助金)	8,993			
(うち他会計補助・負担金)	646,954			
(うち長期前受金戻入)	27,706			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,781			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,348,314			
2 経常費用	6,332,920			
(1) 医業費用	6,111,210			
職員給与費	3,360,717	74.0	60.8	66.2
材料費	1,128,715	24.8	27.1	21.2
(うち薬品費)	706,995	15.6	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	417,083	9.2	11.8	10.1
減価償却費	244,429	5.4	8.6	9.5
経費	1,341,679	29.5	22.0	28.6
(うち委託料)	637,931	14.0	11.8	14.4
研究研修費	24,777			
資産減耗費	10,893			
(2) 医業外費用	221,710			
(うち支払利息)	949	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	15,394			
経常損益	-1,078,854			
純損益	-1,091,467			
累積欠損金	17,705,670			
経常収支比率	83.0		93.0	89.9
医業収支比率	74.3		83.9	79.3
修正医業収支比率	70.0		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	17.4		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	68.5		81.6	77.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,458,645
1 固定資産	3,581,590
(1) 有形固定資産	3,560,539
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	21,051
2 流動資産	877,055
(1) 現金及び預金	190,233
(2) 未収金及び未収収益	665,549
(3) 貸倒引当金( )	244
(4) 貯蔵品	21,517
3 繰延資産	-
負債合計	5,919,050
1 固定負債	4,676,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	3,484,756
(5) 引当金	1,191,370
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,093,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	215,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	172,426
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	666,817
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,201
(1) 長期前受金	614,910
(2) 長期前受金収益化累計額( )	465,709
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-1,460,405
1 資本金	15,171,872
2 剰余金	-16,632,277
(1) 資本剰余金	1,073,393
(2) 利益剰余金	-17,705,670
負債・資本合計	4,458,645
不良債務	1,538
実質資金不足額	1,538
資本不足額( )	1,460,405
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,311,204

備考

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	906,510	914,548
資本勘定繰入	107,218	402,117
計	1,013,728	1,316,665

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	1,538	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	389.8
健全化法上の資金不足額(千円)	362
健全化法上の資金不足比率(%)	0.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,538
地財法上の資金不足比率(%)	0.0

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		芦屋市			
病院名		芦屋病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,045 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	85.1	81.2	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	85.1	81.2	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.3	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	93,922	
決算規模(千円)	46,317,055	
標準財政規模(千円)	27,389,135	
財政力指数	1.09	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	30.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,466,331			
1 経常収益	5,465,980			
(1) 医業収益	5,086,340			
(うち修正医業収益)	4,799,158			
入院収益	3,133,916			
外来収益	1,275,341			
診療収入計	4,409,257			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	677,083			
(うち他会計負担金)	287,182			
(2) 医業外収益	379,640			
(うち国・都道府県補助金)	7,440			
(うち他会計補助・負担金)	285,247			
(うち長期前受金戻入)	15,069			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	351			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,088,641			
2 経常費用	6,059,834			
(1) 医業費用	5,796,544			
職員給与費	3,472,544	68.3	60.8	69.3
材料費	1,046,223	20.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	634,882	12.5	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	370,457	7.3	11.8	9.1
減価償却費	409,405	8.0	8.6	10.8
経費	854,574	16.8	22.0	29.9
(うち委託料)	591,796	11.6	11.8	13.7
研究研修費	9,412			
資産減耗費	4,386			
(2) 医業外費用	263,290			
(うち支払利息)	76,234	1.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	28,807			
損益	-593,854			
純損益	-622,310			
累積欠損金	12,673,624			
経常収支比率	90.2		93.0	91.6
医業収支比率	87.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	82.8		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	80.8		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,854,511
1 固定資産	3,659,183
(1) 有形固定資産	3,602,068
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,115
2 流動資産	1,195,328
(1) 現金及び預金	444,236
(2) 未収金及び未収収益	747,899
(3) 貸倒引当金( )	8,807
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,811,670
1 固定負債	7,440,106
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,634,200
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,838,800
(5) 引当金	967,106
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,303,954
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	367,387
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	239,800
(5) 引当金	185,282
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	486,922
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	67,610
(1) 長期前受金	153,879
(2) 長期前受金収益化累計額( )	86,269
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,957,159
1 本金	8,701,665
2 剰余金	-12,658,824
(1) 資本剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-12,673,624
負債・資本合計	4,854,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	3,957,159
資本不足額(繰延収益控除後)( )	3,889,549
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	568,346	572,429
資本勘定繰入	199,953	206,112
計	768,299	778,541

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	249.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	伊丹市				
病院名	伊丹病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,790 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	414	77.2	73.8	69.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	77.2	73.8	69.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.1	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	198,138	
決算規模(千円)	92,682,491	
標準財政規模(千円)	47,163,038	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	14,756,838				
1 経常収益	14,527,740				
(1) 医業収益	13,511,178				
(うち修正医業収益)	13,204,985				
入院収益	8,856,856				
外来収益	4,047,217				
診療収入計	12,904,073				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	607,105				
(うち他会計負担金)	306,193				
(2) 医業外収益	1,016,562				
(うち国・都道府県補助金)	30,870				
(うち他会計補助・負担金)	602,866				
(うち長期前受金戻入)	252,491				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	229,098				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	16,142,742				
2 経常費用	15,700,095				
(1) 医業費用	14,945,932				
職員給与費	7,610,181	56.3	60.8	58.1	
材料費	4,352,409	32.2	27.1	29.1	
(うち薬品費)	2,028,219	15.0	14.8	15.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,252,642	16.7	11.8	12.7	
減価償却費	447,524	3.3	8.6	8.1	
経費	2,486,388	18.4	22.0	18.7	
(うち委託料)	1,252,864	9.3	11.8	10.4	
研究研修費	46,792				
資産減耗費	2,638				
(2) 医業外費用	754,163				
(うち支払利息)	75,136	0.6	0.9	0.9	
(3) 特別損失	442,647				
経常損益	-1,172,355				
純損益	-1,385,904				
累積欠損金	5,252,033				
経常収支比率	92.5		93.0	93.4	
医業収支比率	90.4		83.9	87.3	
修正医業収支比率	88.4		81.0	84.5	
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.2	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.3	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.3	9.8	
実質収益対経常費用比率	86.7		81.6	84.3	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,754,405
1 固定資産	21,035,072
(1) 有形固定資産	18,690,961
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,344,111
2 流動資産	3,719,333
(1) 現金及び預金	1,624,683
(2) 未収金及び未収収益	2,053,966
(3) 貸倒引当金( )	8,890
(4) 貯蔵品	49,574
3 繰延資産	-
負債合計	21,681,781
1 固定負債	14,433,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,057,575
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,375,758
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,920,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	654,188
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	439,919
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,767,313
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,327,646
(1) 長期前受金	13,108,027
(2) 長期前受金収益化累計額( )	8,780,381
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,072,624
1 本金	3,237,565
2 剰余金	-164,941
(1) 資本剰余金	5,087,092
(2) 利益剰余金	-5,252,033
負債・資本合計	24,754,405
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	909,059	909,059
資本勘定繰入	224,215	226,679
計	1,133,274	1,135,738

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		相生市			
病院名		相生市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,424 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	39.6	40.4	41.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	39.6	40.4	41.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.2	23.0	26.0

設立団体の状況	
人口(人)	28,355
決算規模(千円)	14,247,981
標準財政規模(千円)	8,647,404
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	93.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.0 49.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	638,642			
1 経常収益	638,642			
(1) 医業収益	503,840			
(うち修正医業収益)	499,760			
入院収益	288,103			
外来収益	188,589			
診療収入計	476,692			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	27,148			
(うち他会計負担金)	4,080			
(2) 医業外収益	134,802			
(うち国・都道府県補助金)	750			
(うち他会計補助・負担金)	94,399			
(うち長期前受金戻入)	31,288			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	667,098			
2 経常費用	667,093			
(1) 医業費用	627,789			
職員給与費	293,603	58.3	60.8	82.0
材料費	126,529	25.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	107,670	21.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,752	3.5	11.8	6.1
減価償却費	44,442	8.8	8.6	12.5
経費	162,649	32.3	22.0	34.4
(うち委託料)	71,219	14.1	11.8	16.9
研究研修費	446			
資産減耗費	120			
(2) 医業外費用	39,304			
(うち支払利息)	562	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	5			
損益	経常損益	-28,451		
	純損益	-28,456		
累積欠損金	575,415			
経常収支比率	95.7		93.0	93.1
医業収支比率	80.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	79.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	15.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	81.0		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	522,486
1 固定資産	387,098
(1) 有形固定資産	387,053
(2) 無形固定資産	30
(3) 投資その他の資産	15
2 流動資産	135,388
(1) 現金及び預金	44,117
(2) 未収金及び未収収益	85,179
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	6,092
3 繰延資産	-
負債合計	384,793
1 固定負債	192,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	192,028
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33
(6) リース債務	-
2 流動負債	102,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,247
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,457
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,321
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,707
(1) 長期前受金	837,690
(2) 長期前受金収益化累計額( )	746,983
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	137,693
1 資本金	335,157
2 剰余金	-197,464
(1) 資本剰余金	377,951
(2) 利益剰余金	-575,415
負債・資本合計	522,486
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	98,479	98,479
資本勘定繰入	6,741	7,891
計	105,220	106,370

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	赤穂市		
病院名	赤穂市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	32,911 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	356	55.7	57.9	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	94.7	162.9
計	360	55.1	58.3	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	16.3	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	45,892	
決算規模(千円)	25,836,108	
標準財政規模(千円)	13,524,479	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	66.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,089,382			
1 経常収益	8,087,648			
(1) 医業収益	6,888,829			
(うち修正医業収益)	6,806,487			
入院収益	4,295,704			
外来収益	2,204,803			
診療収入計	6,500,507			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	388,322			
(うち他会計負担金)	82,342			
(2) 医業外収益	1,198,819			
(うち国・都道府県補助金)	19,824			
(うち他会計補助・負担金)	1,121,888			
(うち長期前受金戻入)	24,109			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,734			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,708,464			
2 経常費用	8,650,701			
(1) 医業費用	8,171,982			
職員給与費	4,061,826	59.0	60.8	61.3
材料費	1,683,413	24.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	814,792	11.8	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	801,043	11.6	11.8	11.2
減価償却費	576,267	8.4	8.6	8.5
経費	1,820,246	26.4	22.0	21.8
(うち委託料)	855,868	12.4	11.8	11.9
研究研修費	20,322			
資産減耗費	9,908			
(2) 医業外費用	478,719			
(うち支払利息)	54,312	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	57,763			
損益	-563,053			
純損益	-619,082			
累積欠損金	7,421,321			
経常収支比率	93.5		93.0	92.2
医業収支比率	84.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	83.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	79.6		81.6	82.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,001,922
1 固定資産	10,516,246
(1) 有形固定資産	10,282,930
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	231,156
2 流動資産	1,485,676
(1) 現金及び預金	371,137
(2) 未収金及び未収収益	1,083,440
(3) 貸倒引当金( )	5,706
(4) 貯蔵品	34,784
3 繰延資産	-
負債合計	9,174,327
1 固定負債	6,001,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,281,812
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	400,000
(5) 引当金	1,319,639
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,938,066
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,234,183
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	261,043
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	692,283
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	234,810
(1) 長期前受金	670,500
(2) 長期前受金収益化累計額( )	435,690
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,827,595
1 資本金	10,221,297
2 剰余金	-7,393,702
(1) 資本剰余金	27,619
(2) 利益剰余金	-7,421,321
負債・資本合計	12,001,922
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	454,836	1,204,230
資本勘定繰入	658,423	658,423
計	1,113,259	1,862,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	218,207
地財法上の資金不足比率(%)	3.1

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		西脇市			
病院名		西脇病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透1未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,674 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	320	84.5	84.2	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	84.5	84.2	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	13.7	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	38,673	
決算規模(千円)	22,296,551	
標準財政規模(千円)	12,023,573	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,521,043			
1 経常収益	8,509,242			
(1) 医業収益	7,222,279			
(うち修正医業収益)	7,162,344			
入院収益	5,221,176			
外来収益	1,770,004			
診療収入計	6,991,180			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	231,099			
(うち他会計負担金)	59,935			
(2) 医業外収益	1,286,963			
(うち国・都道府県補助金)	27,623			
(うち他会計補助・負担金)	812,196			
(うち長期前受金戻入)	391,753			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,801			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,105,891			
2 経常費用	9,097,962			
(1) 医業費用	8,904,674			
職員給与費	4,476,676	62.0	60.8	61.3
材料費	1,802,058	25.0	27.1	26.2
(うち薬品費)	958,249	13.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	843,809	11.7	11.8	11.2
減価償却費	773,451	10.7	8.6	8.5
経費	1,806,872	25.0	22.0	21.8
(うち委託料)	958,450	13.3	11.8	11.9
研究研修費	31,564			
資産減耗費	14,053			
(2) 医業外費用	193,288			
(うち支払利息)	123,125	1.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	7,929			
経常損益	-588,720			
純損益	-584,848			
累積欠損金	2,703,539			
経常収支比率	93.5		93.0	92.2
医業収支比率	81.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	80.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	83.9		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,732,710
1 固定資産	7,154,686
(1) 有形固定資産	6,889,728
(2) 無形固定資産	2,250
(3) 投資その他の資産	262,708
2 流動資産	2,578,024
(1) 現金及び預金	1,271,263
(2) 未収金及び未収収益	1,233,334
(3) 貸倒引当金( )	2,693
(4) 貯蔵品	75,400
3 繰延資産	-
負債合計	10,144,990
1 固定負債	8,220,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,300,691
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,920,108
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,641,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	888,749
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	237,296
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	406,797
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	282,233
(1) 長期前受金	5,364,581
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,082,348
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-412,280
1 資本金	1,163,767
2 剰余金	-1,576,047
(1) 資本剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-2,703,539
負債・資本合計	9,732,710
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	412,280
資本不足額(繰延収益控除後)( )	130,047
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,014,370	872,131
資本勘定繰入	377,869	377,869
計	1,392,239	1,250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宝塚市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I	訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨	災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	436	64.5	62.6	58.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	64.5	62.6	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.0	9.3

設立団体の状況		
人口(人)	226,432	
決算規模(千円)	117,398,160	
標準財政規模(千円)	48,660,715	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,574,025			
1 経常収益	13,552,644			
(1) 医業収益	12,411,966			
(うち修正医業収益)	11,881,773			
入院収益	7,381,190			
外来収益	4,338,528			
診療収入計	11,719,718			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	692,248			
(うち他会計負担金)	530,193			
(2) 医業外収益	1,140,678			
(うち国・都道府県補助金)	19,350			
(うち他会計補助・負担金)	399,666			
(うち長期前受金戻入)	55,945			
(うち資本費繰入収益)	535,387			
(3) 特別利益	21,381			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,732,354			
2 経常費用	13,726,992			
(1) 医業費用	13,116,672			
職員給与費	6,658,606	53.6	60.8	58.1
材料費	3,198,683	25.8	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,909,446	15.4	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,289,237	10.4	11.8	12.7
減価償却費	810,236	6.5	8.6	8.1
経費	2,405,314	19.4	22.0	18.7
(うち委託料)	1,246,475	10.0	11.8	10.4
研究研修費	32,690			
資産減耗費	11,143			
(2) 医業外費用	610,320			
(うち支払利息)	43,791	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	5,362			
経常損益	-174,348			
純損益	-158,329			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.7		93.0	93.4
医業収支比率	94.6		83.9	87.3
修正医業収支比率	90.6		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	92.0		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	14,364,501
1 固定資産	11,136,008
(1) 有形固定資産	10,667,232
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	467,289
2 流動資産	3,228,493
(1) 現金及び預金	998,116
(2) 未収金及び未収収益	1,946,705
(3) 貸倒引当金( )	587
(4) 貯蔵品	108,038
3 繰延資産	-
負債合計	9,350,623
1 固定負債	5,609,595
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,306,328
(2) その他の企業債	20,008
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	850,000
(5) 引当金	433,259
(6) リース債務	-
2 流動負債	3,115,660
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	924,625
(2) その他の企業債	1,979
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	449,090
(6) リース債務	6,203
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,311,739
(9) 前受金及び前受収益	14,483
3 繰延収益	625,368
(1) 長期前受金	1,506,404
(2) 長期前受金収益化累計額( )	881,036
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,013,878
1 本金	2,816,580
2 剰余金	2,197,298
(1) 資本剰余金	649,512
(2) 利益剰余金	1,547,786
負債・資本合計	14,364,501
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	982,940	929,859
資本勘定繰入	574,387	948,973
計	1,557,327	1,878,832

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		高砂市			
病院名		高砂市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,705 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	61.0	60.9	65.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	61.0	60.9	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	18.1	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	87,722	
決算規模(千円)	40,432,425	
標準財政規模(千円)	22,523,175	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	45.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,810,405			
1 経常収益	4,071,413			
(1) 医業収益	3,767,793			
(うち修正医業収益)	3,587,793			
入院収益	2,051,306			
外来収益	1,414,409			
診療収入計	3,465,715			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,078			
(うち他会計負担金)	180,000			
(2) 医業外収益	303,620			
(うち国・都道府県補助金)	4,185			
(うち他会計補助・負担金)	143,639			
(うち長期前受金戻入)	138,551			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	738,992			
(うち他会計繰入金)	683,341			
総費用	5,032,383			
2 経常費用	5,028,367			
(1) 医業費用	4,822,373			
職員給与費	2,752,423	73.1	60.8	69.3
材料費	584,514	15.5	27.1	18.4
(うち薬品費)	270,535	7.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	280,434	7.4	11.8	9.1
減価償却費	285,030	7.6	8.6	10.8
経費	1,097,267	29.1	22.0	29.9
(うち委託料)	546,274	14.5	11.8	13.7
研究研修費	12,890			
資産減耗費	90,249			
(2) 医業外費用	205,994			
(うち支払利息)	9,408	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	4,016			
経常損益	-956,954			
純損益	-221,978			
累積欠損金	7,860,032			
経常収支比率	81.0		93.0	91.6
医業収支比率	78.1		83.9	77.4
修正医業収支比率	74.4		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	20.9		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	74.5		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	7,529,611
1 固定資産	5,372,927
(1) 有形固定資産	5,244,625
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	128,302
2 流動資産	2,156,684
(1) 現金及び預金	1,559,220
(2) 未収金及び未収収益	596,616
(3) 貸倒引当金( )	6,000
(4) 貯蔵品	6,775
3 繰延資産	-
負債合計	4,729,685
1 固定負債	2,460,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	824,558
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,421,157
(6) リース債務	214,854
2 流動負債	1,321,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,141
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	202,349
(6) リース債務	92,493
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	638,304
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	947,507
(1) 長期前受金	2,967,951
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,020,444
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,799,926
1 資本金	10,659,958
2 剰余金	-7,860,032
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,860,032
負債・資本合計	7,529,611
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,639	1,006,980
資本勘定繰入	98,109	98,109
計	421,748	1,105,089

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 兵庫県	
市町村・組合名	川西市		
病院名	川西市立総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,619 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	405	91.7	92.5	64.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	405	91.7	92.5	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	152,321
決算規模(千円)	60,786,749
標準財政規模(千円)	34,246,472
財政力指数	0.64
経常収支比率(%)	98.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	71.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,861,115			
1 経常収益	1,861,115			
(1) 医業収益	166,891			
(うち修正医業収益)	16,891			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	166,891			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,694,224			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	771,591			
(うち長期前受金戻入)	429,667			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,896,645			
2 経常費用	1,893,775			
(1) 医業費用	1,662,906			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	1,331,007	797.5	8.6	8.1
経費	331,690	198.7	22.0	18.7
(うち委託料)	39,578	23.7	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	209			
(2) 医業外費用	230,869			
(うち支払利息)	92,565	55.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	2,870			
損益	-32,660			
純損益	-35,530			
累積欠損金	5,116,802			
経常収支比率	98.3		93.0	93.4
医業収支比率	10.0		83.9	87.3
修正医業収支比率	1.0		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	49.5		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	552.2		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	49.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	49.6		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	18,993,326
1 固定資産	18,443,451
(1) 有形固定資産	18,082,277
(2) 無形固定資産	329,622
(3) 投資その他の資産	31,552
2 流動資産	549,875
(1) 現金及び預金	118,192
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	21,895,702
1 固定負債	18,616,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,616,702
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,214,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,154,073
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,099
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,064,828
(1) 長期前受金	2,998,895
(2) 長期前受金収益化累計額( )	934,067
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-2,902,376
1 資本金	110,184
2 剰余金	-3,012,560
(1) 資本剰余金	2,104,242
(2) 利益剰余金	-5,116,802
負債・資本合計	18,993,326
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	2,902,376
資本不足額(繰延収益控除後)( )	837,548
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	799,886	921,591
資本勘定繰入	472,240	472,240
計	1,272,126	1,393,831

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3066.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		三田市			
病院名		三田市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,928 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	69.9	66.5	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	69.9	66.5	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.3	9.3

設立団体の状況		
人口(人)	109,238	
決算規模(千円)	45,501,026	
標準財政規模(千円)	24,314,831	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,936,948			
1 経常収益	8,874,834			
(1) 医業収益	8,073,938			
(うち修正医業収益)	7,675,235			
入院収益	5,505,935			
外来収益	2,018,911			
診療収入計	7,524,846			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	549,092			
(うち他会計負担金)	398,703			
(2) 医業外収益	800,896			
(うち国・都道府県補助金)	10,432			
(うち他会計補助・負担金)	515,370			
(うち長期前受金戻入)	187,394			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	62,114			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,697,766			
2 経常費用	9,650,676			
(1) 医業費用	9,269,013			
職員給与費	4,971,530	61.6	60.8	61.3
材料費	2,066,124	25.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	810,232	10.0	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,249,378	15.5	11.8	11.2
減価償却費	455,508	5.6	8.6	8.5
経費	1,745,745	21.6	22.0	21.8
(うち委託料)	916,042	11.3	11.8	11.9
研究研修費	21,024			
資産減耗費	9,082			
(2) 医業外費用	381,663			
(うち支払利息)	22,466	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	47,090			
損益	-775,842			
純損益	-760,818			
累積欠損金	447,610			
経常収支比率	92.0		93.0	92.2
医業収支比率	87.1		83.9	84.6
修正医業収支比率	82.8		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	82.5		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,659,644
1 固定資産	9,088,284
(1) 有形固定資産	8,743,808
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	344,476
2 流動資産	1,571,360
(1) 現金及び預金	260,726
(2) 未収金及び未収収益	1,225,898
(3) 貸倒引当金( )	2,361
(4) 貯蔵品	83,375
3 繰延資産	-
負債合計	7,455,851
1 固定負債	884,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	810,531
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	73,906
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,286,524
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	275,819
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	328,648
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	635,348
(9) 前受金及び前受収益	5,643
3 繰延収益	5,284,890
(1) 長期前受金	14,741,539
(2) 長期前受金収益化累計額( )	9,456,649
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,203,793
1 資本金	793,700
2 剰余金	2,410,093
(1) 資本剰余金	2,857,703
(2) 利益剰余金	-447,610
負債・資本合計	10,659,644
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	804,410	914,073
資本勘定繰入	595,420	712,045
計	1,399,830	1,626,118

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加西市				
病院名	加西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,166 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救 臨 感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	193	75.9	77.6	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	14.3
計	199	73.6	75.2	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	16.9	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	42,700	
決算規模(千円)	26,273,234	
標準財政規模(千円)	12,331,390	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,145,833			
1 経常収益	4,098,440			
(1) 医業収益	3,648,754			
(うち修正医業収益)	3,420,466			
入院収益	2,365,668			
外来収益	907,888			
診療収入計	3,273,556			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	375,198			
(うち他会計負担金)	228,288			
(2) 医業外収益	449,686			
(うち国・都道府県補助金)	13,748			
(うち他会計補助・負担金)	383,018			
(うち長期前受金戻入)	19,494			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47,393			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,828,286			
2 経常費用	4,599,613			
(1) 医業費用	4,415,633			
職員給与費	2,584,666	70.8	60.8	69.3
材料費	562,397	15.4	27.1	18.4
(うち薬品費)	229,746	6.3	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	290,278	8.0	11.8	9.1
減価償却費	210,257	5.8	8.6	10.8
経費	1,042,130	28.6	22.0	29.9
(うち委託料)	506,478	13.9	11.8	13.7
研究研修費	11,447			
資産減耗費	4,736			
(2) 医業外費用	183,980			
(うち支払利息)	22,768	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	228,673			
損益	-501,173			
純損益	-682,453			
累積欠損金	5,577,653			
経常収支比率	89.1		93.0	91.6
医業収支比率	82.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	77.5		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	75.8		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,350,982
1 固定資産	2,391,327
(1) 有形固定資産	2,345,675
(2) 無形固定資産	58
(3) 投資その他の資産	45,594
2 流動資産	1,959,655
(1) 現金及び預金	1,395,173
(2) 未収金及び未収収益	559,001
(3) 貸倒引当金( )	3,298
(4) 貯蔵品	8,440
3 繰延資産	-
負債合計	3,212,856
1 固定負債	2,364,173
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,412,212
(2) その他の企業債	201,568
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	747,040
(6) リース債務	3,353
2 流動負債	773,165
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	256,478
(2) その他の企業債	19,936
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	204,716
(6) リース債務	1,783
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	267,088
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	75,518
(1) 長期前受金	256,085
(2) 長期前受金収益化累計額( )	180,567
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,138,126
1 本金	6,694,790
2 剰余金	-5,556,664
(1) 資本剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-5,576,541
負債・資本合計	4,350,982
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	611,306	611,306
資本勘定繰入	138,694	138,694
計	750,000	750,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	宍粟市		
病院名	公立宍粟総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	14,078 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	67.6	62.5	55.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	67.6	62.5	55.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	13.8	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	34,819	
決算規模(千円)	23,674,377	
標準財政規模(千円)	14,801,103	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	48.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,041,610			
1 経常収益	4,041,610			
(1) 医業収益	3,679,798			
(うち修正医業収益)	3,589,956			
入院収益	2,258,696			
外来収益	1,227,886			
診療収入計	3,486,582			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	193,216			
(うち他会計負担金)	89,842			
(2) 医業外収益	361,812			
(うち国・都道府県補助金)	8,839			
(うち他会計補助・負担金)	187,554			
(うち長期前受金戻入)	128,502			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,383,541			
2 経常費用	4,383,541			
(1) 医業費用	4,222,772			
職員給与費	2,387,529	64.9	60.8	69.3
材料費	707,925	19.2	27.1	18.4
(うち薬品費)	276,480	7.5	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	381,524	10.4	11.8	9.1
減価償却費	211,895	5.8	8.6	10.8
経費	899,024	24.4	22.0	29.9
(うち委託料)	322,384	8.8	11.8	13.7
研究研修費	11,397			
資産減耗費	5,002			
(2) 医業外費用	160,769			
(うち支払利息)	20,920	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-341,931			
純損益	-341,931			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.2		93.0	91.6
医業収支比率	87.1		83.9	77.4
修正医業収支比率	85.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	85.9		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,923,238
1 固定資産	3,598,076
(1) 有形固定資産	3,229,571
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	368,505
2 流動資産	2,325,162
(1) 現金及び預金	1,712,595
(2) 未収金及び未収収益	597,865
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	14,702
3 繰延資産	-
負債合計	2,918,894
1 固定負債	1,355,955
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,355,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	883,883
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	320,875
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	164,727
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,308
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	679,056
(1) 長期前受金	1,385,272
(2) 長期前受金収益化累計額( )	706,216
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,004,344
1 資本金	849,565
2 剰余金	2,154,779
(1) 資本剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	2,134,022
負債・資本合計	5,923,238
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277,396	277,396
資本勘定繰入	225,160	225,160
計	502,556	502,556

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		加東市			
病院名		加東市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,954 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	139	67.3	63.6	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	67.3	63.6	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	18.8	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	40,645	
決算規模(千円)	25,590,294	
標準財政規模(千円)	12,909,167	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,694,536				
1 経常収益	2,693,950				
(1) 医業収益	2,002,712				
(うち修正医業収益)	1,685,480				
入院収益	1,208,231				
外来収益	391,163				
診療収入計	1,599,394				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	403,318				
(うち他会計負担金)	317,232				
(2) 医業外収益	691,238				
(うち国・都道府県補助金)	2,815				
(うち他会計補助・負担金)	274,271				
(うち長期前受金戻入)	2,940				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	586				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,734,677				
2 経常費用	2,729,921				
(1) 医業費用	2,211,356				
職員給与費	1,371,851	68.5	60.8	69.3	
材料費	257,466	12.9	27.1	18.4	
(うち薬品費)	129,476	6.5	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,292	5.2	11.8	9.1	
減価償却費	157,992	7.9	8.6	10.8	
経費	410,910	20.5	22.0	29.9	
(うち委託料)	251,000	12.5	11.8	13.7	
研究研修費	4,734				
資産減耗費	8,403				
(2) 医業外費用	518,565				
(うち支払利息)	3,313	0.2	0.9	1.0	
(3) 特別損失	4,756				
損益	-35,971				
純損益	-40,141				
累積欠損金	2,330,434				
経常収支比率	98.7		93.0	91.6	
医業収支比率	90.6		83.9	77.4	
修正医業収支比率	76.2		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	29.5		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	22.0		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	77.0		81.6	75.4	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,791,520
1 固定資産	1,839,409
(1) 有形固定資産	1,812,718
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	26,691
2 流動資産	952,111
(1) 現金及び預金	649,115
(2) 未収金及び未収収益	284,068
(3) 貸倒引当金( )	190
(4) 貯蔵品	18,968
3 繰延資産	-
負債合計	1,090,190
1 固定負債	629,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	454,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,870
(5) 引当金	-
(6) リース債務	132,520
2 流動負債	437,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,400
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,866
(5) 引当金	135,470
(6) リース債務	75,954
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	105,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	23,010
(1) 長期前受金	56,498
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,488
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,701,330
1 資本金	4,011,982
2 剰余金	-2,310,652
(1) 資本剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-2,328,424
負債・資本合計	2,791,520
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	591,503	591,503
資本勘定繰入	104,251	108,497
計	695,754	700,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	116.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	たつの市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	74,316	
決算規模(千円)	39,902,632	
標準財政規模(千円)	22,161,743	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	
	連結実質赤字比率(%)	
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,745			
1 経常収益	5,745			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,745			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,745			
2 経常費用	5,745			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,745			
(うち支払利息)	5,745	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		神戸市			
病院名		公立神崎総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,998 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	140	77.7	73.6	74.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	77.7	73.6	74.8
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	22.8	23.6

設立団体の状況		
人口(人)	10,616	
決算規模(千円)	10,328,623	
標準財政規模(千円)	5,644,633	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	38.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,157,710			
1 経常収益	3,157,710			
(1) 医業収益	2,919,867			
(うち修正医業収益)	2,707,855			
入院収益	1,677,256			
外来収益	852,876			
診療収入計	2,530,132			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	389,735			
(うち他会計負担金)	212,012			
(2) 医業外収益	237,843			
(うち国・都道府県補助金)	3,601			
(うち他会計補助・負担金)	212,284			
(うち長期前受金戻入)	3,129			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,466,820			
2 経常費用	3,466,820			
(1) 医業費用	3,347,936			
職員給与費	2,248,141	77.0	60.8	69.3
材料費	340,072	11.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	76,998	2.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	230,652	7.9	11.8	9.1
減価償却費	290,599	10.0	8.6	10.8
経費	455,858	15.6	22.0	29.9
(うち委託料)	171,629	5.9	11.8	13.7
研究研修費	8,268			
資産減耗費	4,998			
(2) 医業外費用	118,884			
(うち支払利息)	22,836	0.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-309,110			
純損失	-309,110			
累積欠損金	1,261,478			
経常収支比率	91.1		93.0	91.6
医業収支比率	87.2		83.9	77.4
修正医業収支比率	80.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	78.8		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,029,689
1 固定資産	4,696,217
(1) 有形固定資産	4,249,458
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	446,759
2 流動資産	1,333,472
(1) 現金及び預金	890,343
(2) 未収金及び未収収益	421,098
(3) 貸倒引当金( )	2,183
(4) 貯蔵品	24,214
3 繰延資産	-
負債合計	3,456,644
1 固定負債	2,919,143
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,721,004
(2) その他の企業債	198,139
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	524,021
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,828
(2) その他の企業債	41,498
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	129,847
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	168,093
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	13,480
(1) 長期前受金	36,926
(2) 長期前受金収益化累計額( )	23,446
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,573,045
1 資本金	3,834,523
2 剰余金	-1,261,478
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,261,478
負債・資本合計	6,029,689
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	676,023	424,296
資本勘定繰入	80,704	127,204
計	756,727	551,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	43.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 兵庫県	
市町村・組合名	香美町		
病院名	公立香住病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	7,138 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	60.9	61.5	62.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	60.9	61.5	62.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.1	20.7

設立団体の状況	
人口(人)	16,064
決算規模(千円)	16,969,138
標準財政規模(千円)	8,345,996
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	95.7
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.4
将来負担比率(%)	17.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,454,618			
1 経常収益	1,454,543			
(1) 医業収益	896,967			
(うち修正医業収益)	846,454			
入院収益	331,895			
外来収益	461,077			
診療収入計	792,972			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	103,995			
(うち他会計負担金)	50,513			
(2) 医業外収益	557,576			
(うち国・都道府県補助金)	880			
(うち他会計補助・負担金)	332,907			
(うち長期前受金戻入)	1,039			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,533,852			
2 経常費用	1,529,778			
(1) 医業費用	1,184,699			
職員給与費	751,819	83.8	60.8	82.0
材料費	127,344	14.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	43,983	4.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	83,180	9.3	11.8	6.1
減価償却費	123,303	13.7	8.6	12.5
経費	178,769	19.9	22.0	34.4
(うち委託料)	107,479	12.0	11.8	16.9
研究研修費	1,587			
資産減耗費	1,877			
(2) 医業外費用	345,079			
(うち支払利息)	10,627	1.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,074			
経常損失	-75,235			
純損失	-79,234			
累積欠損金	3,122,935			
経常収支比率	95.1		93.0	93.1
医業収支比率	75.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	71.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	42.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	26.4		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	70.0		81.6	68.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	2,562,553
1 固定資産	2,297,158
(1) 有形固定資産	2,139,318
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	157,840
2 流動資産	265,395
(1) 現金及び預金	100,005
(2) 未収金及び未収収益	159,081
(3) 貸倒引当金( )	125
(4) 貯蔵品	6,092
3 繰延資産	-
負債合計	1,596,376
1 固定負債	1,185,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,185,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	389,715
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,966
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	52,455
(9) 前受金及び前受収益	21,678
3 繰延収益	21,223
(1) 長期前受金	38,263
(2) 長期前受金収益化累計額( )	17,040
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	966,177
1 資本金	4,069,912
2 剰余金	-3,103,735
(1) 資本剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-3,122,935
負債・資本合計	2,562,553
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,983	383,420
資本勘定繰入	56,240	59,215
計	244,223	442,635

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	348.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	新温泉町				
病院名	浜坂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,403 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	49	71.5	73.6	66.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	71.5	73.6	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	21.2	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	13,318	
決算規模(千円)	13,472,273	
標準財政規模(千円)	6,463,263	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	18.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,361,180			
1 経常収益	1,206,427			
(1) 医業収益	615,095			
(うち修正医業収益)	572,672			
入院収益	360,987			
外来収益	165,169			
診療収入計	526,156			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,939			
(うち他会計負担金)	42,423			
(2) 医業外収益	591,332			
(うち国・都道府県補助金)	735			
(うち他会計補助・負担金)	189,115			
(うち長期前受金戻入)	1,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,753			
(うち他会計繰入金)	150,000			
総費用	1,468,010			
2 経常費用	1,465,857			
(1) 医業費用	876,849			
職員給与費	537,472	87.4	60.8	92.5
材料費	66,389	10.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	46,659	7.6	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,730	3.2	11.8	5.8
減価償却費	65,805	10.7	8.6	13.4
経費	204,986	33.3	22.0	47.6
(うち委託料)	70,634	11.5	11.8	23.6
研究研修費	1,975			
資産減耗費	222			
(2) 医業外費用	589,008			
(うち支払利息)	792	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	2,153			
経常損益	-259,430			
純損益	-106,830			
累積欠損金	4,012,228			
経常収支比率	82.3		93.0	95.6
医業収支比率	70.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	65.3		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	37.6		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	66.5		81.6	60.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,732,357
1 固定資産	1,048,294
(1) 有形固定資産	1,027,610
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	19,508
2 流動資産	684,063
(1) 現金及び預金	498,692
(2) 未収金及び未収収益	177,063
(3) 貸倒引当金( )	171
(4) 貯蔵品	8,479
3 繰延資産	-
負債合計	1,570,296
1 固定負債	1,239,321
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	315,550
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	500,480
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	423,291
(6) リース債務	-
2 流動負債	314,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	83,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	108,500
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,015
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	54,442
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,421
(1) 長期前受金	150,771
(2) 長期前受金収益化累計額( )	134,350
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	162,061
1 本金	4,088,147
2 剰余金	-3,926,086
(1) 資本剰余金	86,142
(2) 利益剰余金	-4,012,228
負債・資本合計	1,732,357
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,758	381,538
資本勘定繰入	99,630	277,062
計	309,388	658,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	652.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,100 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	473	87.7	83.4	83.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	30.9	28.6	33.4
感染症	4	-	-	40.5
計	528	81.5	77.5	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.3	14.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,959,765			
1 経常収益	19,953,601			
(1) 医業収益	16,953,493			
(うち修正医業収益)	16,681,113			
入院収益	11,124,171			
外来収益	5,191,188			
診療収入計	16,315,359			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	638,134			
(うち他会計負担金)	272,380			
(2) 医業外収益	3,000,108			
(うち国・都道府県補助金)	456,650			
(うち他会計補助・負担金)	1,256,721			
(うち長期前受金戻入)	871,303			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,164			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,955,429			
2 経常費用	20,953,176			
(1) 医業費用	19,943,169			
職員給与費	10,662,676	62.9	60.8	53.3
材料費	5,020,139	29.6	27.1	33.0
(うち薬品費)	2,281,222	13.5	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,637,532	15.6	11.8	14.1
減価償却費	1,241,519	7.3	8.6	7.4
経費	2,938,335	17.3	22.0	17.2
(うち委託料)	1,723,830	10.2	11.8	10.2
研究研修費	67,916			
資産減耗費	12,584			
(2) 医業外費用	1,010,007			
(うち支払利息)	164,308	1.0	0.9	0.7
(3) 特別損失	2,253			
経常損益	-999,575			
純損益	-995,664			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.2		93.0	94.3
医業収支比率	85.0		83.9	89.6
修正医業収支比率	83.6		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	87.9		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	27,395,384
1 固定資産	23,553,918
(1) 有形固定資産	21,981,829
(2) 無形固定資産	21,167
(3) 投資その他の資産	1,550,922
2 流動資産	3,841,466
(1) 現金及び預金	171,267
(2) 未収金及び未収収益	3,500,246
(3) 貸倒引当金( )	3,924
(4) 貯蔵品	169,879
3 繰延資産	-
負債合計	31,218,809
1 固定負債	22,777,715
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,795,952
(2) その他の企業債	381,044
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	216,641
(5) 引当金	5,383,078
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,294,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,210,469
(2) その他の企業債	39,900
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,668
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	1,901,059
(9) 前受金及び前受収益	3,027
3 繰延収益	2,146,849
(1) 長期前受金	3,903,354
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,756,505
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,823,425
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-6,602,247
(1) 資本剰余金	1,599,498
(2) 利益剰余金	-8,201,745
負債・資本合計	27,395,384
不良債務	242,310
実質資金不足額	242,310
資本不足額( )	3,823,425
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,676,576
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,529,101	1,529,101
資本勘定繰入	1,233,493	1,233,493
計	2,762,594	2,762,594

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	242,310	1.3
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.8
健全化法上の資金不足額(千円)	202,410
健全化法上の資金不足比率(%)	1.0
地財法上の資金不足額(千円)	623,354
地財法上の資金不足比率(%)	3.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立豊岡病院出石医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,834 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	59.1	53.7	55.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	59.1	53.7	55.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	17.2	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	781,148			
1 経常収益	780,998			
(1) 医業収益	583,094			
(うち修正医業収益)	524,665			
入院収益	347,976			
外来収益	150,066			
診療収入計	498,042			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,052			
(うち他会計負担金)	58,429			
(2) 医業外収益	197,904			
(うち国・都道府県補助金)	776			
(うち他会計補助・負担金)	143,803			
(うち長期前受金戻入)	46,941			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	150			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	862,496			
2 経常費用	862,490			
(1) 医業費用	838,405			
職員給与費	578,155	99.2	60.8	82.0
材料費	65,724	11.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	18,143	3.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,432	5.9	11.8	6.1
減価償却費	67,066	11.5	8.6	12.5
経費	125,036	21.4	22.0	34.4
(うち委託料)	71,182	12.2	11.8	16.9
研究研修費	2,054			
資産減耗費	370			
(2) 医業外費用	24,085			
(うち支払利息)	7,646	1.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	6			
経常損益	-81,492			
純損益	-81,348			
累積欠損金	-			
経常収支比率	90.6		93.0	93.1
医業収支比率	69.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	62.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	34.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	25.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	67.1		81.6	68.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	27,395,384
1 固定資産	23,553,918
(1) 有形固定資産	21,981,829
(2) 無形固定資産	21,167
(3) 投資その他の資産	1,550,922
2 流動資産	3,841,466
(1) 現金及び預金	171,267
(2) 未収金及び未収収益	3,500,246
(3) 貸倒引当金( )	3,924
(4) 貯蔵品	169,879
3 繰延資産	-
負債合計	31,218,809
1 固定負債	22,777,715
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,795,952
(2) その他の企業債	381,044
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	216,641
(5) 引当金	5,383,078
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,294,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,210,469
(2) その他の企業債	39,900
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,668
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	1,901,059
(9) 前受金及び前受収益	3,027
3 繰延収益	2,146,849
(1) 長期前受金	3,903,354
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,756,505
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,823,425
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-6,602,247
(1) 資本剰余金	1,599,498
(2) 利益剰余金	-8,201,745
負債・資本合計	27,395,384
不良債務	242,310
実質資金不足額	242,310
資本不足額( )	3,823,425
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,676,576
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,232	202,232
資本勘定繰入	78,776	78,776
計	281,008	281,008

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	242,310	1.3
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.8
健全化法上の資金不足額(千円)	202,410
健全化法上の資金不足比率(%)	1.0
地財法上の資金不足額(千円)	623,354
地財法上の資金不足比率(%)	3.2

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立豊岡病院組合			
病院名		公立朝来医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,699 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	104	59.0	56.3	50.2
療養	45	71.9	66.8	52.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	62.9	59.4	50.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	19.6	19.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,955,782			
1 経常収益	1,955,782			
(1) 医業収益	1,629,941			
(うち修正医業収益)	1,518,345			
入院収益	1,140,696			
外来収益	334,814			
診療収入計	1,475,510			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	154,431			
(うち他会計負担金)	111,596			
(2) 医業外収益	325,841			
(うち国・都道府県補助金)	3,287			
(うち他会計補助・負担金)	128,657			
(うち長期前受金戻入)	187,242			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,155,631			
2 経常費用	2,155,618			
(1) 医業費用	2,064,345			
職員給与費	1,174,782	72.1	60.8	69.3
材料費	208,756	12.8	27.1	18.4
(うち薬品費)	76,326	4.7	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	102,292	6.3	11.8	9.1
減価償却費	259,757	15.9	8.6	10.8
経費	416,843	25.6	22.0	29.9
(うち委託料)	270,534	16.6	11.8	13.7
研究研修費	3,594			
資産減耗費	613			
(2) 医業外費用	91,273			
(うち支払利息)	33,738	2.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	13			
損益				
経常収支比率	90.7		93.0	91.6
医業収支比率	79.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	73.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	79.6		81.6	75.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	27,395,384
1 固定資産	23,553,918
(1) 有形固定資産	21,981,829
(2) 無形固定資産	21,167
(3) 投資その他の資産	1,550,922
2 流動資産	3,841,466
(1) 現金及び預金	171,267
(2) 未収金及び未収収益	3,500,246
(3) 貸倒引当金( )	3,924
(4) 貯蔵品	169,879
3 繰延資産	-
負債合計	31,218,809
1 固定負債	22,777,715
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,795,952
(2) その他の企業債	381,044
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	216,641
(5) 引当金	5,383,078
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,294,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,210,469
(2) その他の企業債	39,900
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	803,668
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	1,901,059
(9) 前受金及び前受収益	3,027
3 繰延収益	2,146,849
(1) 長期前受金	3,903,354
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,756,505
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-3,823,425
1 本金	2,778,822
2 剰余金	-6,602,247
(1) 資本剰余金	1,599,498
(2) 利益剰余金	-8,201,745
負債・資本合計	27,395,384
不良債務	242,310
実質資金不足額	242,310
資本不足額( )	3,823,425
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,676,576
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,253	240,253
資本勘定繰入	193,740	193,740
計	433,993	433,993

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	242,310	1.3
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.8
健全化法上の資金不足額(千円)	202,410
健全化法上の資金不足比率(%)	1.0
地財法上の資金不足額(千円)	623,354
地財法上の資金不足比率(%)	3.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立八鹿病院組合			
病院名		公立八鹿病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,498 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	338	68.8	66.1	68.6
療養	35	86.4	80.9	88.9
結核	7	8.1	8.0	11.2
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	69.3	66.4	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	20.6	18.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,079,438			
1 経常収益	8,069,438			
(1) 医業収益	6,026,218			
(うち修正医業収益)	5,915,771			
入院収益	4,160,317			
外来収益	1,500,429			
診療収入計	5,660,746			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	365,472			
(うち他会計負担金)	110,447			
(2) 医業外収益	2,043,220			
(うち国・都道府県補助金)	88,648			
(うち他会計補助・負担金)	445,493			
(うち長期前受金戻入)	512,912			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,683,488			
2 経常費用	8,670,510			
(1) 医業費用	7,240,066			
職員給与費	4,352,970	72.2	60.8	61.3
材料費	1,038,236	17.2	27.1	26.2
(うち薬品費)	494,674	8.2	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	463,618	7.7	11.8	11.2
減価償却費	549,030	9.1	8.6	8.5
経費	1,272,911	21.1	22.0	21.8
(うち委託料)	561,957	9.3	11.8	11.9
研究研修費	21,104			
資産減耗費	5,815			
(2) 医業外費用	1,430,444			
(うち支払利息)	69,592	1.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	12,978			
経常損益	-601,072			
純損益	-604,050			
累積欠損金	3,367,818			
経常収支比率	93.1		93.0	92.2
医業収支比率	83.2		83.9	84.6
修正医業収支比率	81.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	86.7		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,021,865
1 固定資産	12,660,304
(1) 有形固定資産	11,197,413
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,458,907
2 流動資産	2,361,561
(1) 現金及び預金	1,064,531
(2) 未収金及び未収収益	1,189,789
(3) 貸倒引当金( )	3,459
(4) 貯蔵品	89,717
3 繰延資産	-
負債合計	10,593,374
1 固定負債	7,033,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,122,143
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,905,958
(6) リース債務	5,730
2 流動負債	2,282,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	723,229
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	699,218
(6) リース債務	3,466
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	800,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,276,805
(1) 長期前受金	7,821,516
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,544,711
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,428,491
1 本金	7,747,218
2 剰余金	-3,318,727
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-3,320,573
負債・資本合計	15,021,865
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	551,857	555,940
資本勘定繰入	621,518	666,803
計	1,173,375	1,222,743

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		公立八鹿病院組合			
病院名		公立村岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,995 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	42	52.6	44.3	45.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	52.6	44.3	45.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	11.8	9.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	585,242			
1 経常収益	585,242			
(1) 医業収益	440,694			
(うち修正医業収益)	440,694			
入院収益	252,246			
外来収益	174,562			
診療収入計	426,808			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	13,886			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	144,548			
(うち国・都道府県補助金)	690			
(うち他会計補助・負担金)	87,325			
(うち長期前受金戻入)	9,547			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	643,417			
2 経常費用	643,157			
(1) 医業費用	583,749			
職員給与費	355,658	80.7	60.8	92.5
材料費	112,116	25.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	76,715	17.4	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,112	5.9	11.8	5.8
減価償却費	27,901	6.3	8.6	13.4
経費	86,935	19.7	22.0	47.6
(うち委託料)	50,239	11.4	11.8	23.6
研究研修費	1,126			
資産減耗費	13			
(2) 医業外費用	59,408			
(うち支払利息)	371	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	260			
損益	-57,915			
純損益	-58,175			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.0		93.0	95.6
医業収支比率	75.5		83.9	59.3
修正医業収支比率	75.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	77.4		81.6	60.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	15,021,865
1 固定資産	12,660,304
(1) 有形固定資産	11,197,413
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	1,458,907
2 流動資産	2,361,561
(1) 現金及び預金	1,064,531
(2) 未収金及び未収収益	1,189,789
(3) 貸倒引当金( )	3,459
(4) 貯蔵品	89,717
3 繰延資産	-
負債合計	10,593,374
1 固定負債	7,033,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,122,143
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,905,958
(6) リース債務	5,730
2 流動負債	2,282,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	723,229
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	699,218
(6) リース債務	3,466
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	800,767
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,276,805
(1) 長期前受金	7,821,516
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,544,711
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,428,491
1 本金	7,747,218
2 剰余金	-3,318,727
(1) 資本剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-3,320,573
負債・資本合計	15,021,865
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	87,325	87,325
資本勘定繰入	6,591	6,591
計	93,916	93,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名		北播磨総合医療センター企業団			
病院名		北播磨総合医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,109 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	450	70.5	66.1	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	70.5	66.1	75.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.8	10.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,130,237			
1 経常収益	19,130,012			
(1) 医業収益	17,595,869			
(うち修正医業収益)	17,134,103			
入院収益	11,444,372			
外来収益	5,348,036			
診療収入計	16,792,408			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	803,461			
(うち他会計負担金)	461,766			
(2) 医業外収益	1,534,143			
(うち国・都道府県補助金)	35,496			
(うち他会計補助・負担金)	1,123,013			
(うち長期前受金戻入)	173,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	225			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,033,774			
2 経常費用	20,015,446			
(1) 医業費用	18,906,931			
職員給与費	8,973,938	51.0	60.8	58.1
材料費	6,015,238	34.2	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,505,015	14.2	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,428,340	19.5	11.8	12.7
減価償却費	1,231,990	7.0	8.6	8.1
経費	2,616,928	14.9	22.0	18.7
(うち委託料)	1,776,067	10.1	11.8	10.4
研究研修費	49,806			
資産減耗費	19,031			
(2) 医業外費用	1,108,515			
(うち支払利息)	102,692	0.6	0.9	0.9
(3) 特別損失	18,328			
損益	-885,434			
純損益	-903,537			
累積欠損金	187,242			
経常収支比率	95.6		93.0	93.4
医業収支比率	93.1		83.9	87.3
修正医業収支比率	90.6		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	87.7		81.6	84.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	18,933,316
1 固定資産	14,751,351
(1) 有形固定資産	10,848,417
(2) 無形固定資産	580,330
(3) 投資その他の資産	3,322,604
2 流動資産	4,181,965
(1) 現金及び預金	1,260,125
(2) 未収金及び未収収益	2,787,414
(3) 貸倒引当金( )	10,507
(4) 貯蔵品	139,333
3 繰延資産	-
負債合計	18,156,959
1 固定負債	11,567,370
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,857,672
(2) その他の企業債	83,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,546,061
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,417,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,076,725
(2) その他の企業債	8,333
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	560,452
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,706,937
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,172,286
(1) 長期前受金	7,375,469
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,203,183
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	776,357
1 資本金	428,387
2 剰余金	347,970
(1) 資本剰余金	535,212
(2) 利益剰余金	-187,242
負債・資本合計	18,933,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,726,260	1,584,779
資本勘定繰入	482,427	15,221
計	2,208,687	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。